

# シルバー やまがた

第116号 平成26年10月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター広報部会  
正会員数 907名 賛助会員 47個人・50団体(9月末現在)



豊烈神社例大祭(広報部撮影)

## —— 内容紹介 ——

- |    |                          |      |                        |
|----|--------------------------|------|------------------------|
| P2 | 事業普及啓発促進月間<br>市長・議長へ要請活動 | P6～7 | 会員のひろば                 |
| P3 | 安全標語入選発表・安全講習会           | P8   | 人あり・技あり・心あり<br>女性部会だより |
| P4 | 会員の状況・就業状況について           | P9   | 就業会員を訪ねて<br>新入会員紹介     |
| P5 | わが街自慢                    | P10  | 事務局だより                 |

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索



# 10月は事業普及啓発促進月間です

## —地域活動の一層の推進を—

高齢者人口が三千万人を超え、高齢者の生きがいづくり、意欲のある高齢者が活躍できる社会づくりが提唱されております。

働く意欲を持った高齢者が、これまで培った能力や経験を活かして生涯現役として活躍できる社会づくりを目指そうとするのですが、その受け皿としてシルバー人材センターの役割が益々大きくなってきております。

この時に当たり、十月の事業普及促進月間においては、シルバー人材センターの地域への一層の普及と就業機会の確保・拡大、人的基盤である会員の増員を柱として、全国規模で活動が展開されます。

当センターにおいても全国各地域のシルバー人材センターの仲間とともに、普及啓発活動を行うことといたしました。会員の皆様にも地域における普及啓発活動に取り組んでいただくようお願いいたします。

### 一 事業の実施期間

十月一日（水）から十月三十一日（金）

### 二 事業の実施内容

- ① 県シルバー人材センター連合会主催による安全就業推進大会への参加
- ② 会員互助会文化祭における活動風景パネルの展示
- ③ 役職員、会員によるボランティア活動等の社会奉仕活動の実施
- ④ 普及啓発活動内容等の市役所市政記者クラブへの情報提供
- ⑤ 役員による街頭啓発活動の実施
- ⑥ 会員による「イチイチ」運動の一層の推進

## 全シ協総会決議を受け、

## 市長・議長へ要請活動を展開

六月二十六日に平成二十六年全シ協定時総会が開催され、シルバー人材センターを取り巻く厳しい情勢を訴え、「補助金と公共事業の発注について、今年度以上の確保」と「シルバー人材センターの財政状況を勘案した公益法人認定方法の改正」を強くお願いする決議文が採択されました。これを



市川市長に要望内容を説明する長瀬理事長

当センターでも七月二十四日、山形市長および山形市議会議長へ、理事長・常務理事の二名で「今後とも継続してシルバー事業へのご支援・ご協力を」と強く要望してきました。



要望書を受け取る加藤議長

第11回

# 安全標語入選発表会・安全講習会の開催

八月五日、山形テルサにて、第十一回安全就業標語入選発表会が行われ、応募数二百五十一編の中から、最優秀作品一編、優秀作品二編、佳作六編が入選発表されました。入選されました皆様、おめでとうございます。

## 安全標語入選作

### 最優秀

慣れた作業に 落とし穴 声かけ合って  
安全確認

(東沢地区 黒木 和子)

### 優秀

シルバーの 知恵を出し合い、事故防止

(鈴川一地区 石澤 幸男)

まあ・いいか！ 気持ちのゆるみが

事故を呼ぶ

(西地区 古郡興二郎)

### 佳作

「気をつけて」その一言が 事故なくす

(第四地区 長谷川徳治)

事故ゼロに しっかり生かさう 共助の力

(第六地区 佐藤美紀子)

無事故には 仲間と声かけ 安全就業

(鈴川一地区 石澤 幸男)

いつもの仕事に 油断あり 慣れ合いストップ

再確認  
(鈴川二地区 武田 忠征)

気を抜くな 心にしつかり 安全ベルト

(飯塚・榎沢地区 渡辺 重則)

慣れる程 初心にかえれ もう一度

(金井地区 稲村 勝美)

## 安全講習会

### 安全就業推進委員会

委員長 矢代 鉄也

NRI社会情報システム(株)兼永敏博氏を講師に、「会員を取り巻く状況と安全就業」について講演がありました。

始めに「高齢者を取り巻く環境・高齢社会で高齢者が働く意義」について話をされ、高齢者数は二〇三〇年には三千六百万人を超え、高齢化率は三十一・六%に達するとのこと。そうした環境の中で「どう社会とかわり合いを持ち、健康で働き、生きがいを持つ生き方ができるか」考えさせられる話でした。次に「センターの組織と運営」については、地域班と職群班の課題と検討、職群班が活性化した活動事例等が紹介されました。

最後に「安全就業のために」については、人間にはミスや見落としはつきもの、これを完全に無くする事はむずかしい「大切な事は要因の段階でこれを見つけ、処置する事・作業手順を守り、会員自身が安全を確認する事」事故ゼロを目指す山形SCにとって勉強になる安全講習会でした。



安全講習会



入選作品の表彰

## 会員の状況・就業状況について

平成26年4月～平成26年8月末まで（上半期）

### ①会員の状況

月別	入会者数	退会者数	当月末会員数	備 考
26.3.31			980	前年度末会員数
4 月	31 (男 22、女 9)	0	1,011	
5 月	6 (男 6、女 0)	133 (男 94、女 39)	884	
6 月	16 (男 14、女 2)	1 (男 1、女 0)	899	
7 月	5 (男 4、女 1)	1 (男 1、女 0)	903	
8 月	7 (男 6、女 1)	2 (男 2、女 0)	908	
合 計	65 (男 52、女 13)	137 (男 98、女 39)	908	男：708 女：200

### ②就業状況

区 分	職 群	就業延人数	備 考
一 般 受 注	技 術 群	0	経理事務、パソコン作業 など
	技 能 群	20,173	襖張り、障子張り、剪定 など
	事 務 整 理 群	1,752	賞状筆耕、統計事務 など
	管 理 群	17,724	駐車場管理、施設管理 など
	折 衝 外 交 群	82	量販店での作業 など
	一 般 作 業 群	14,357	除草、草刈り、清掃 など
	サ ー ビ ス 群	443	病院での洗濯、らくらく応援隊 など
	計	54,531	
独 自 事 業	自 転 車 再 生	10	
	家 具 リ サ イ ク ル	2	
	即 売 会	0	
	計	12	
子 育 て 支 援	子 育 て 支 援	551	
合 計		55,094	

# 西地区

樋口 健一

我が街西地区は、山形市の西部に位置し西田・江南・下条町の三ブロックからなる広範囲な地区で編成され、西小学校を中心に正方形な形をした地区が我々の街です。

四十年前は周り一帯が水田風景でしたが、山形市街化区域の計画で昭和四十八年に住宅地に変貌した為、歴史的な建造物等々はないが、地区には大小合わせて十箇所の公園があります。その中で地区のボランテアで奉仕活動を行っている西田中央公園を紹介したいと思います。設立は土地区画整理組合が住宅地に開発した時に、山形市が公園として造成し地区民が維持管理している公園です。

公園の敷地にはホールと和室がある集会所・ソフトボール等が出来るグラウンド・子供達が元気に遊ぶことができる遊具施設、春には桜やつつじが咲きほこり、小高い丘には



東屋がある自慢のできる公園となっています。地区の行事は元より、中学校の部活やスポーツの行事などでも利用されています。

地区民が安心して利用できる立派な公園を守るために、微力ながら西地区会員一同ボランテア活動を継続していきたいと思っています。

## 地域紹介

# わが街自慢

## パートII



# 蔵王地区

堀 修二

開湯一九〇〇年、長い年月を経て蔵王温泉は硫黄泉の湯として、湧き続けております。

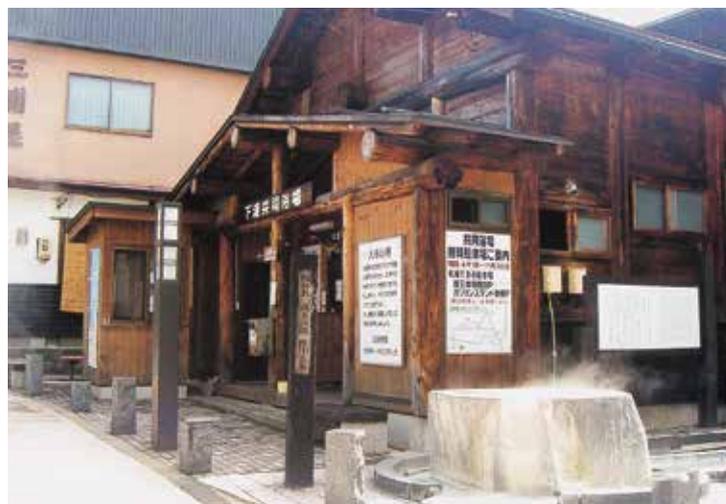
すべてを語る事は出来ませんが、現在の御風呂や街の様子など、いろんな所を紹介したいと思ひ、ペンを執つたところです。

温泉は、湧出量の多いこと、湯がきれいなこと、源泉かけ流しと、「美人の湯」ともいわれてきました。温泉街の中心、高湯通りを歩いていくと鳥居が見えてきて、長い石段を登り始めると川柳坂といわれる灯ろうが並び、川柳が楽しめます。さらに登ると酔川温泉神社（毎年六月二十六日例大祭が開催される）へ着くと温泉街を眺められます。

高湯通りには三ヶ所の共同浴場があり、上

の方から上湯、川原湯、下湯（足湯あり）最近きれいにリフォームされてにぎわいを見せております。

他にもたくさん入浴施設と人気のいがもち、ジンギスカン料理、からから汁などを楽しんでください。



高齢者交通安全教室に参加して



第三地区  
大東 了一

五十名の参加で開催されました。

高齢者ドライバーの事故防止策

- 身体機能は年齢を重ねることに衰えます。これを自覚すること。
- 自分本位の運転はしないこと。
- ゆずり、ゆずられ、心にゆとりを持つことが大事です。
- 運転を誤れば自分や家族が一瞬にして不幸に陥ることになります。

定年退職後、北山形駅前運転者会の広報担当に携わる事十年になりました。私たちは毎日が車と共に生活しております。交通安全を通し、明るい住みよい街づくりをと思い頑張っています。

七月に北部公民館で第九回高齢者交通安全教室が安協より講師を招き

県内では交通事故死者の半数以上を高齢者が占め、事故件数も昨年度より増加傾向にあるようです。また

ひろば  
つながり



北町夏祭りに参加して



第七地区  
星川真知子

高齢者自身が交通ルールを遵守し私たちがみんなが事故の被害者にも加害者にもならないように地域全体で取り組みます。シルバー会員の皆さん、今日も無事故で安全運転を！

させていたため、用紙に筆で書くお役目を頂いた。一区から四区まで多大な事業体の協賛を頂くことが出来た。

当日は、公民館にて早朝から模擬店を出す準備が進められた。フルーツ、焼きトウモロコシ、イカポッポ、焼き鳥、焼きそばなど壮年の方々や、婦人部の方が手際よく準備される姿にびっくりした。

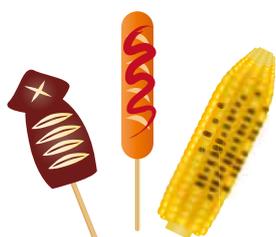
私たちの住む北町は、八月二日（土）天狗橋公園において、今年第四十四回夏祭りを開催した。天候

に恵まれ夏の夜のひと時を多くの方々、家族と楽しむことが出来た。

町内会長を先頭に町内の役員の皆様、婦人部の皆様方による打ち合わせや準備が進められた。

私もその一員に入れて頂き、各区地域の事業体の皆様の協賛金を掲示

他の町内では、これだけ大々的に行動しているところは聞いていない。心から感謝したいと思う。



# 多員の

## 健康・趣味



### 今年も大漁?



西部地区  
渡邊 幸夫

私は二十年ほど前から海の船釣りを趣味としており、主に庄内沖や新潟沖が漁場です。

魚種としては、春はメバル、ソイなどで、夏は主に真鯛です。また、秋から冬にかけてはサワラ、ワラサ、真ダラとなります。

昨年は絶好調で、鯛、ワラサなど

が、それぞれ、百リットルクーラーボックス一杯になるまで釣りました。刺身や、切り身を味噌漬けにして、おいしく食べました。

東日本大震災前は、宮城県の歌津町の沖合いで真ダラ釣りをして、竿頭（船中で一番釣った人）にもなったりしたのですが、今は行く機会もなくなり、大変残念に思っています。今年も、今のところ、釣果はさほどでもないのですが、そろそろ大漁の話が伝わってきており、期待しているところではあります。

### 家族旅行



鈴川三地区  
庄司 豊

昨年息子が札幌に転勤になり、この度孫の夏休みに合わせて妻・娘家族と北海道旅行をしてきた。私も若い頃仕事で何度か訪れたことがあったが、何十年ぶりに来てみるとまた一味違った気持ちで楽しかった。

小樽、旭山動物園、美瑛、富良野、札幌テレビ塔、朝市、ひつじが丘のコースで、初日は電車で、二三日目はレンタカーで移動。北海道は、果てしなくまっすぐ道路が続き見渡す限りの草原、さすが北海道は広い。海外によく出張する娘の夫はドイツの風景にそっくりだと言いつつドイツに行った気分をちょっと味わう。

北海道といったらやっぱり「食」。

海鮮丼に始まりジンギスカン、寿司、日本一のラーメンと息子夫婦が美味しい所を予約してくれて旨みを堪能し、観光、食共にとでも満足して帰ってきた。一日一万歩以上も歩き健康でいることのありがたさも実感、健康でいる限り働かせてもらい、たまに旅行も計画を立ててそれを楽しみにしながら日々の生活を過ごせたらと思う。



ひつじが丘展望台

シルバーに

人あり 技あり 心あり

生涯現役を目指して



高橋 正義

滝山一地区

心身の健康を維持するため、日ごろから山を歩き、生涯学習としていろいろな講座などに参加しているという高橋さんに次のように話をお聞きしました。

自分の生まれは東京ですが、仕事の関係で山形に移り住みました。移り住んでから約五十年になります。山形の四季は移り変わりがはっきりしていて、春の新緑や秋の紅葉は心を和やかにしてくれます。

仕事一筋だった自分には仕事以外の仲間も親戚も少なく、もつと幅広くお付き合いがしたいものだとシルバー人材センターに入会しました。これまで経験のない仕事にも挑戦しながら、仲間と一緒に好きな山登りをやっております。

山登りといっても本格的な登山ではなく、近在近郷の里山を歩くこと

や上山のクアオルト（気候性地形療法）への参加です。ノルディックウォーキングや健康ジムにも通いながら体力の維持を行っています。また生涯学習として興味や関心のあるいくつかの講座などにも参加しています。

例えば、大学の「グローバル世界と日本」や「地域振興と文化財保護」の講座では、若い講師から世界の事情やキトラ古墳の管理などの話を聞いたたり、公民館の「歴史の散歩道」では地域の歴史を学び、見聞を広めております。

退職する頃から「パソコン日記」をつけています。内容は日々の出来事を書きこんでいるだけですが、これは現役時代に培ったパソコン技術を忘れないようにするためです。

こうした心身の健康維持と認知症予防に努め、生涯現役を目指していきたいと思っております。

（取材・広報部）



女性部会だより

女性部会長 村田せつ子

七月二十九日、今年度最初の女性部会事業であります講習会「ニットで作るかんたん針刺し」を開催しました。講師は、役員の古林キヨ子さんと安達つや子さんのお二人です。お二人は、皆さんが楽しめる企画をと心がけて取り組んでくれました。ここで、参加者の感想をご紹介します。

「講師の先生がコツを教えてください、大変良かった」「久々に針を手にして、出来あがった作品に満足」「もう一つ挑戦する」「創作展示即売会や、文化祭にもぜひ出品したい」このように、とても前向きで意欲的な声をお聞きし、大変うれしく感じたところです。

また、講習会後の昼食会では、手作りの水ようかんや、きゅうりの漬物、煮物など心のこもった品々がふるまわれ、なによりも参加された皆さんのにこやかな笑顔が印象的でした。

今後女性部会では、こうした活動を通し、会員のもつ能力を生かしながら、会員と役員の相互関係を深め、工作上的課題等を話し合い、解決の場と資質向上を図っていききたいと考えております。

次回の講習会は、十月に外部講師（賛助会員）を招いて、「ミニ減量のお話と知って便利なのし袋の使い方」の講演会を予定しております。後日、ご案内を送付しますので、興味のある方はぜひご参加ください。女性部一同心よりお待ちしております。



# 就業会員を訪ねて

渡辺正明・加藤 裕・本木康晴(山形市野草園)



お盆が過ぎたのに再び真夏日到来。蒸し暑さを感じながらも標高五百メートル程の立地に所在する野草園に着くと心地よい空気の流れを感じる。平地との温度差が二、三度あるらしい。管理事務所を訪ねて取材の件を申し出ると、「シルバーの方は大変仲が良く、良い仕事をしてください。」と園長さんからの嬉しい言葉に、思わず顔がほころぶ。

二十六ヘクタールもある広大な野草園は山の中。野草園全体の管理作業をシルバー会員四名(シフト制)で、三月の除雪作業を皮切りに季節ごとの草花の種蒔き、定植、除草、消毒、堆肥作りなど十一月末まで続くという。点在する各施設への道路は舗装されているが、これほどの広さを歩いて移動か、と首をかしげていたところ、数台のバイクのエンジンの音が静かだった山にこ

だました。バイクの荷台には刈払機、竹ぼうきが積んである。なるほど、当日の作業工程に従って、バイクでの移動だと気が付いたとき、改めて二十六ヘクタールという野草園の広さを感じた。



十時の休憩時間に話を伺った。就業歴七年を迎えた渡辺さん、野草園すべてを知り尽くしている感じだ。以前、ホームセンターで園芸を担当されていたという加藤さん。仕事の内容は似ているようだが原種を扱う所なので、大事に取り扱わなければならないと、施設の重要性を感じさせる話を伺った。今日で就業四日目という本木さんは、「何もわからな

(取材:広報部)

## 新入会員紹介

(7月1日～9月30日まで)

第二地区	齋藤 憲二	飯塚・榎沢地区	長岡 文男
第三地区	土屋 紘治	東沢地区	紅谷 隆志
第六地区	田中 孝男	滝山一地区	梅津 孝則
西地区	叶内 進	滝山二地区	齋藤 重男
第九地区	大築 芳信	金井地区	山田三千男
第十地区	三澤しづゑ	蔵王地区	白崎 康
鈴川一地区	近野 正弘	栗田 久夫	原田 博
鈴川三地区	秋葉 雅弘	南山形・本沢地区	横山 久治
千歳地区	栗田美代子	南沼原地区	古内のり子
	前田 義信	常川 友志	赤城 博
	田中 さを	廣部 康夫	大川 博美
	佐藤 保嘉		

# 事務局だより

(協)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号  
電話(0)23(6)47(6)47

## お知らせとお願い



### 配分金支払日

- 十月二十日(月)
- 十一月二十日(木)
- 十二月十九日(金)

### 入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘を  
お願いいたします。

- 十月十六日(木) 二十三日(木)
- 三十日(木)
- 十一月六日(木) 十三日(木)
- 二十日(木)
- 十二月四日(木) 十一日(木)
- 十八日(木)

**女性の入会を募集しています。お  
友達、ご家族へ勧誘をお願いします。**

### 就業相談日(午後二時三十分)

- 就業に関しての相談です
- 十月十六日(木)
  - 十一月十三日(木)
  - 十二月十一日(木)

URL: <http://www.sjc.ne.jp/yamagatashi/>  
E-mail: [yamagatashi@sjc.ne.jp](mailto:yamagatashi@sjc.ne.jp)

### 剪定ができる会員さんを募 集しています。

剪定作業に従事する会員さんを募  
集しています。希望される方は事務  
局までお問い合わせ下さい。要件等  
詳しく説明いたします。  
※就業相談でも受け付けます。

## 行事イベント案内

### 地区研修会に 参加しましょう

本年も各地区ごとで開催され  
ますので、皆さんのご参加をよろ  
しく願います。

### 創作品展示即売会

日時: 十一月二十日(木) ~  
二十二日(土)

場所: 山形テルサ二階  
(互助会文化祭会場)  
出品作品の準備をお願いします。  
男性・女性会員とも積極的な  
参加をお待ちしています。

## センター緊急連絡先

〇九〇一六二五五―五三〇二

土日・祝日に事故等が発生した場  
合の緊急連絡先です。

**また、会員証と一緒にお渡しする  
緊急連絡カードは、就業の際必ず携  
帯するようお願いします。**

### シルバーやまがた二一五号 八頁 「地区班の編成」の訂正について

前号でお知らせした地区班の編  
成に、一部誤りがありました。お  
詫びして訂正します。

- 誤: 鈴川一地区 反町↓正: 西部地区 反町
- 正(追加): 鈴川一地区 双月町
- 誤: 南山形・本沢地区 東山形一、二
- 正: 東沢地区 東山形一、二

## 訃報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます

三澤 弘佳さん(七十三歳)

(西地区)

山本 光作さん(五十九歳)

(第八地区)

## あとがき

今年の夏は、山形が燃えに燃えた。五月に六魂祭の開催では、三十万人超の人が集まり、東北六県の祭りを堪能した。六月には、DCが始まり、県内各地で多彩なイベントがスタートした。JRでは世界初の『とれいゆ』に行列、左沢線にSLが走り、一目見ようとファンが集まった。知事は四千五百万人を目指すと大きな数字を掲げた。観光地は大変な賑わいをみせた。

七月はサクランボに始まり、桃、梨、スイカ、メロン、これからも次々と果物が出回る。八月は花笠まつりが大勢の観光客を楽しませた。三日目は中止になったが、暑い夏に相応しく沿道の掛け声と踊り手の熱気でゲストもみんな盛り上がった。お盆を迎え大花火大会も地元の人、帰省客と昼過ぎに花火の場所取りをして、夜の大輪に酔いしれた。

九月は大芋煮会で客は山形の味を堪能した。山形は空気が、人情、野菜、果物、魚介、米と全てで素晴らしい所との評判を耳にした。山形は、DCも終わり夏から黄金の秋を迎える。

シルバー人材センターも、二十六年総会を終え新体制が発表され役員の意欲を感じた。益々重視されるSCを永遠に続けるため、役員・会員が一丸となって前に進もう。